

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	のぞみスター		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 10日 ~ 令和6年 12月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 10日 ~ 令和6年 12月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画に沿った支援。	・アセスメント、モニタリングの段階から職員間での話し合いを行い支援計画についても案作成後再度話し合いを行っている。	・保護者に説明時その場で出た話を職員間に共有する。 ・日々のふりかえりで達成に向けての話し合いをする。
2	利用児が通所を楽しみにしていること。	・保育者がしっかり関わり安心して過ごせるようにする。 ・静・動それぞれの活動を通して「できた」喜びを持てるようにする。 ・外部講師による体操あそびを取り入れている。	・活動の中で園外への散歩、電車を見に行く等を取り入れていく。 ・活動後できるだけ外に出て体を動かして遊ぶ時間を確保する。
3	毎日(日々)見通しのある生活プログラム。	・朝のあつまりで、その日の流れ(活動は何をするか等)を言葉だけでなくイラストを使用し視覚でよりわかるように支援する。	・活動の流れも1つ1つ区切りをはっきりさせ、次の流れにつなげていく。その時も内容をはっきり伝えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	常勤職員と非常勤職員との連携体制。	・非常勤職員の勤務時間がサービス提供時間中であり、連携が取りにくいのが原因。	・支援時間内であっても必要に応じて常勤職員と非常勤職員が対面して情報共有・情報交換できる時間を確保する。 ・対面での情報共有等が難しい場合は、書面やホワイトボードなどを使って連携する。
2	地域の園との交流機会。	・これから交流を実施していくこうと計画を立てていた矢先、新型コロナウイルス感染症が流行してしまい、その後5類に移行し再度計画を立てているが実現していないのが現状。	・交流の実現に向けて、地域の園などと再度計画を立てる必要がある。
3	子どもの活動スペースが狭い。	・建物を増築して以降抱えている課題であり、物理的な問題として捉えている。	・必要に応じて大部屋と小部屋それぞれの空間を上手に使い分ける。 ・徒歩3分の場所にある「放課後等デイサービスひかりスター」を活用する。